

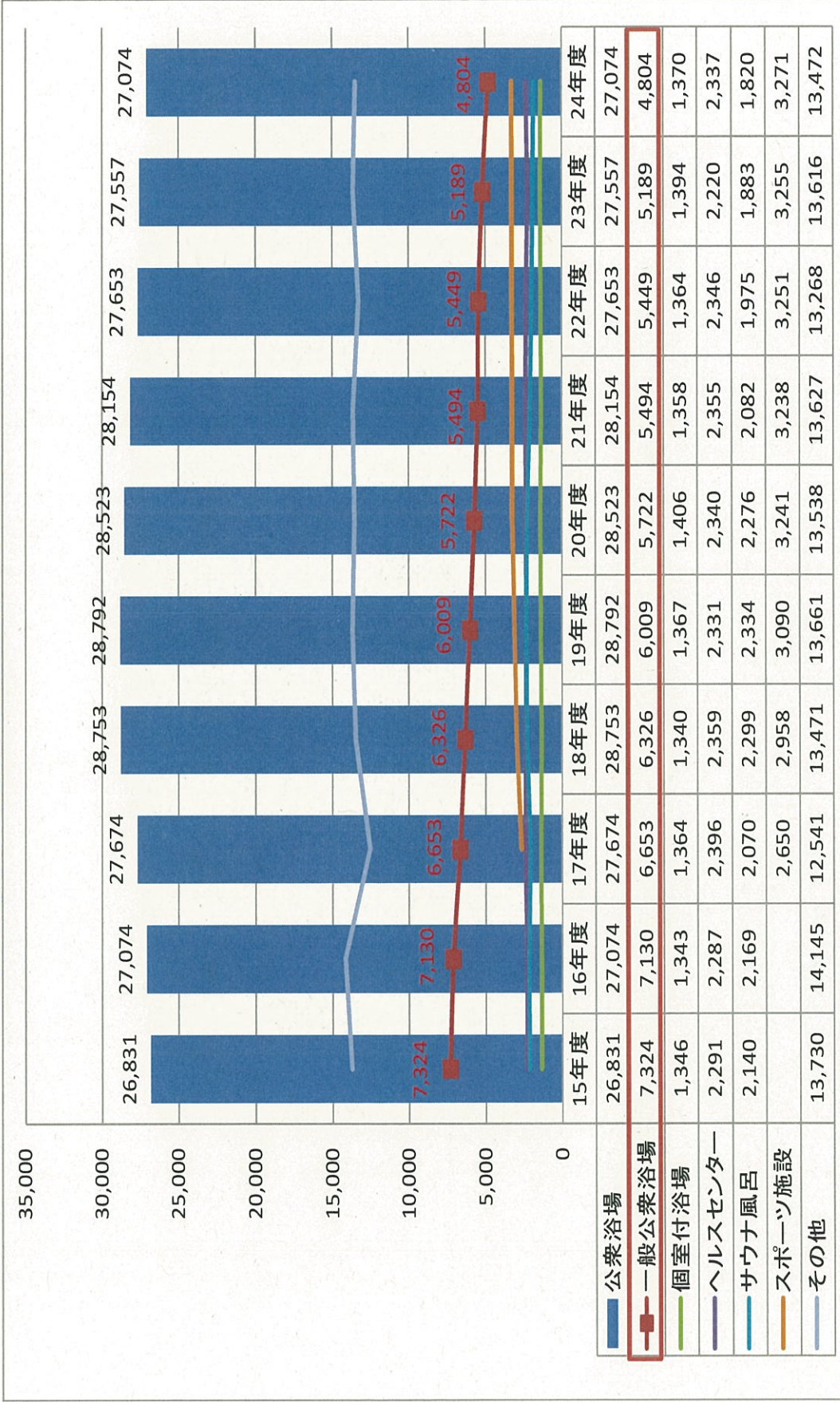
第23回 厚生科学審議会生活衛生適正化分科会

平成26年10月23日

参考資料7

浴場業参考資料

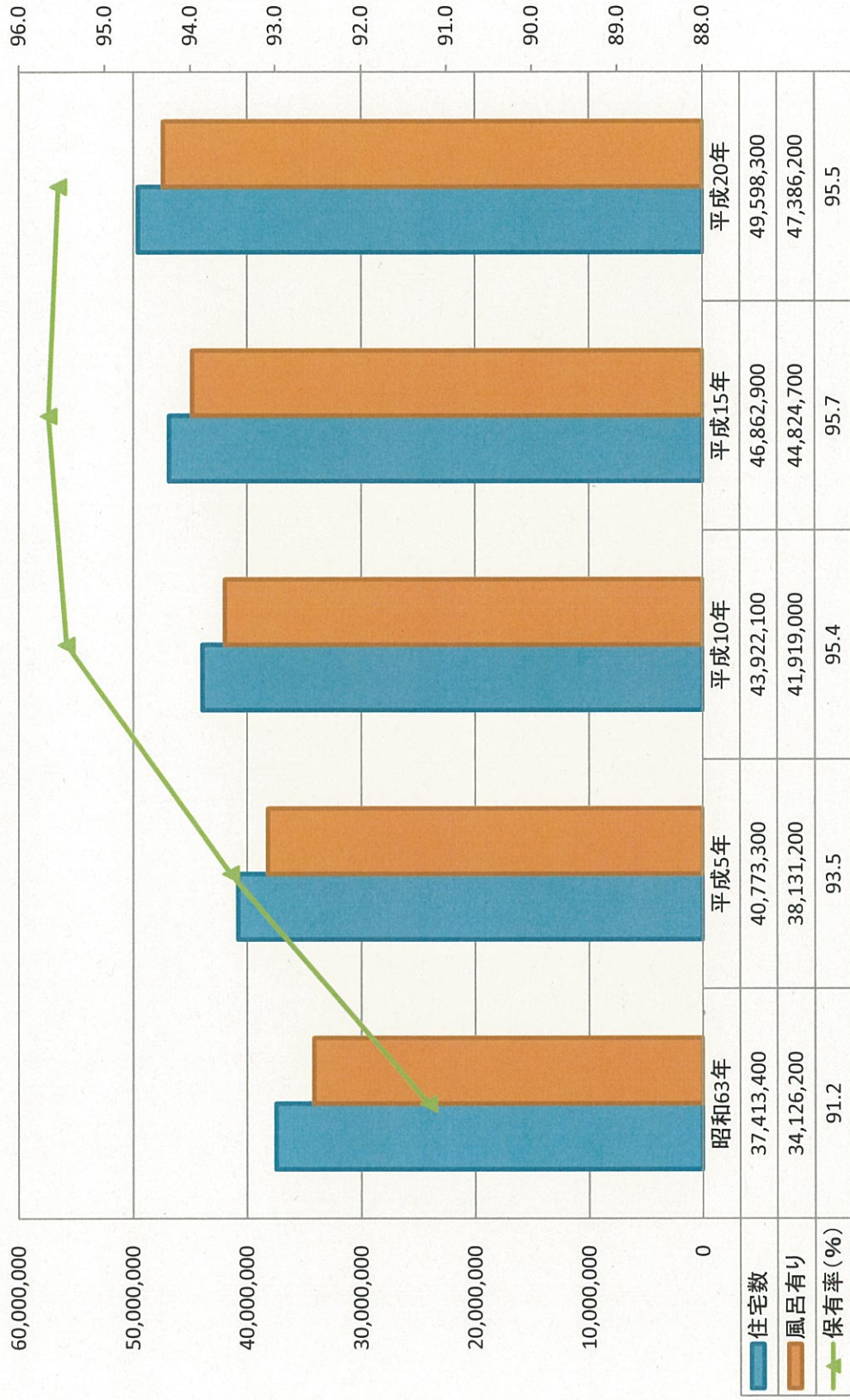
公衆浴場施設数年次推移



(出典) 厚生労働省大臣官房統計情報部「衛生行政報告例」

注：平成22年度は、東日本大震災の影響により、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の相双保健福祉事務所管内の市町村が含まれていない。

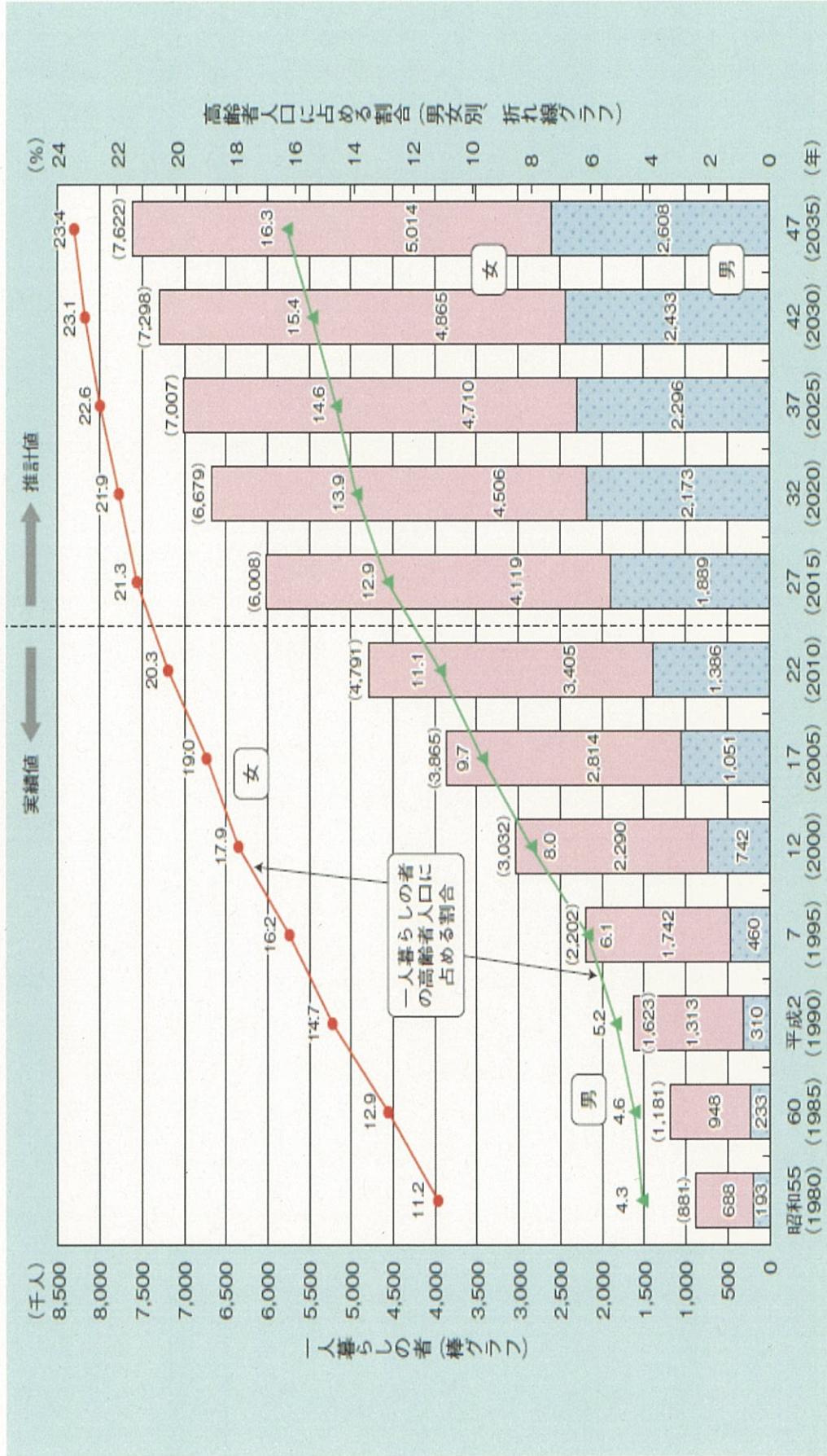
自家風呂普及率の推移



単位：件

(出典) 日本政府観光局 (JNTO)

一人暮らし高齢者の動向



(出典) 平成22年までは総務省「国勢調査」、平成27年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計 (平成25 (2013) 年1月推計)」、「日本の将来推計人口 (平成24 (2012) 年1月推計)」

(注1) 「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」のことを指す。

(注2) 棒グラフ上の () 内は65歳以上の一人暮らし高齢者の男女計

(注3) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

経営上問題点 (燃料費の上昇)

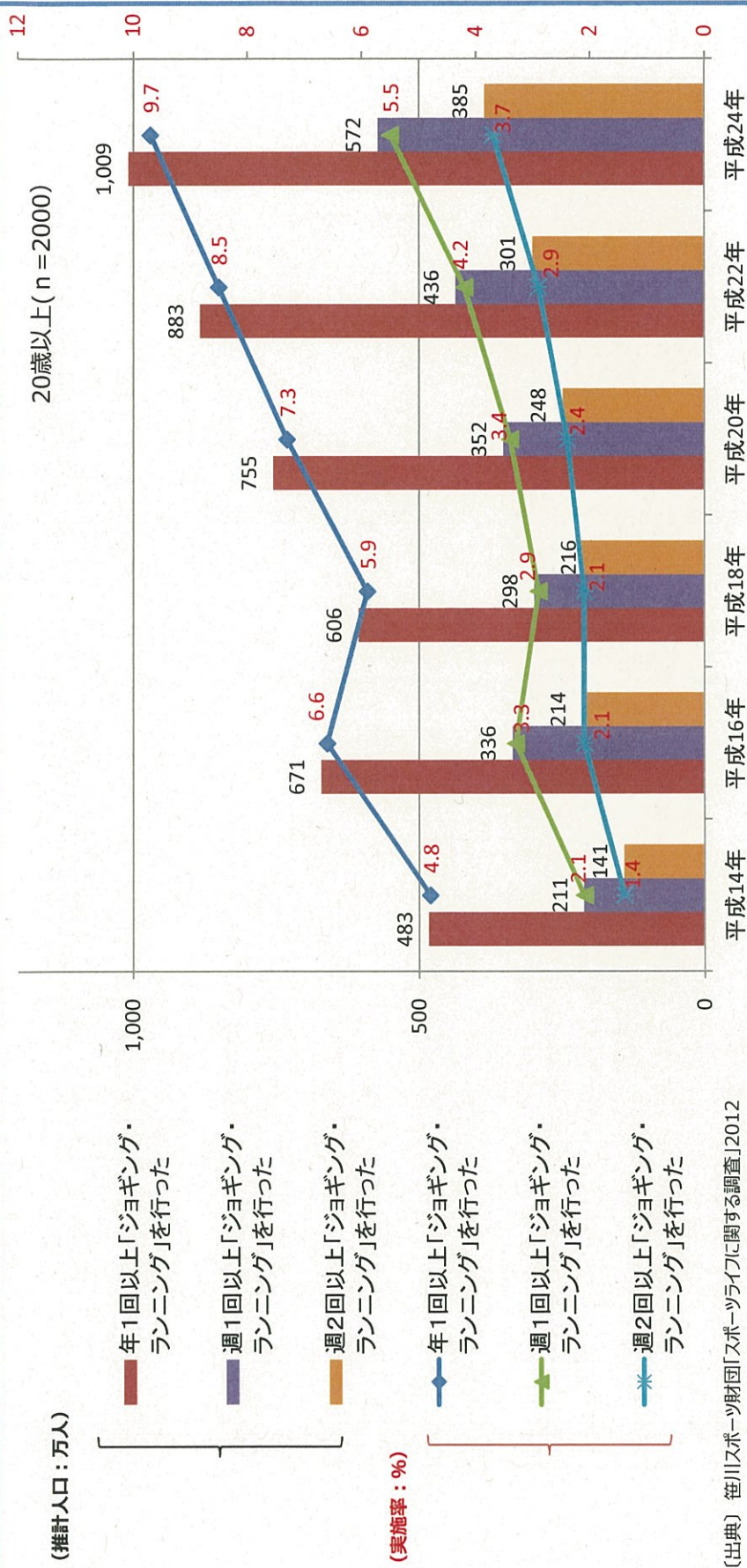
経営主体別・経営上の問題点 (複数回答、%)

	総数	個人経営	株式会社	有限会社
客数の減少	77.4%	83.6%	59.0%	75.7%
立地条件の悪化	7.1%	9.0%	7.7%	4.3%
人手不足・求人難	4.8%	2.2%	15.4%	2.9%
後継者難	10.7%	15.7%	-	8.6%
資金調達難	5.6%	6.0%	2.6%	7.1%
人件費の上昇	7.1%	3.7%	15.4%	8.6%
材料費の上昇	11.5%	13.4%	10.3%	8.6%
光熱費の上昇	49.6%	44.8%	48.7%	57.1%
水道費の上昇	17.9%	17.9%	20.5%	15.7%
燃料費の上昇	63.5%	62.7%	66.7%	62.9%
施設・設備の老朽化	57.1%	56.7%	64.1%	57.1%
他経費の上昇	11.9%	11.9%	17.9%	10.0%
客単価の減少	11.1%	7.5%	20.5%	8.6%
その他	4.4%	3.7%	2.6%	7.1%
特になし	1.2%	0.7%	2.6%	1.4%

立地条件別・経営上の問題点 (複数回答、%)

	商業地区	住宅地区	工場・オフィス街	郊外
客数の減少	67.5%	83.3%	57.1%	84.6%
立地条件の悪化	7.2%	5.8%	-	15.4%
人手不足・求人難	6.0%	0.7%	14.3%	15.4%
後継者難	8.4%	11.6%	14.3%	7.7%
資金調達難	7.2%	3.6%	-	23.1%
人件費の上昇	4.8%	6.5%	42.9%	7.7%
材料費の上昇	13.3%	12.3%	-	7.7%
光熱費の上昇	57.8%	44.9%	28.6%	53.8%
水道費の上昇	21.7%	18.8%	-	-
燃料費の上昇	65.1%	63.8%	42.9%	53.8%
施設・設備の老朽化	54.2%	57.2%	57.1%	61.5%
他経費の上昇	15.7%	10.1%	-	15.4%
客単価の減少	7.2%	10.9%	42.9%	23.1%
その他	8.4%	2.9%	-	-
特になし	-	2.2%	-	-

「ジョギング・ランニング」の実施率及び推計人口の年次推移



銭湯がランナー向け施設として活躍

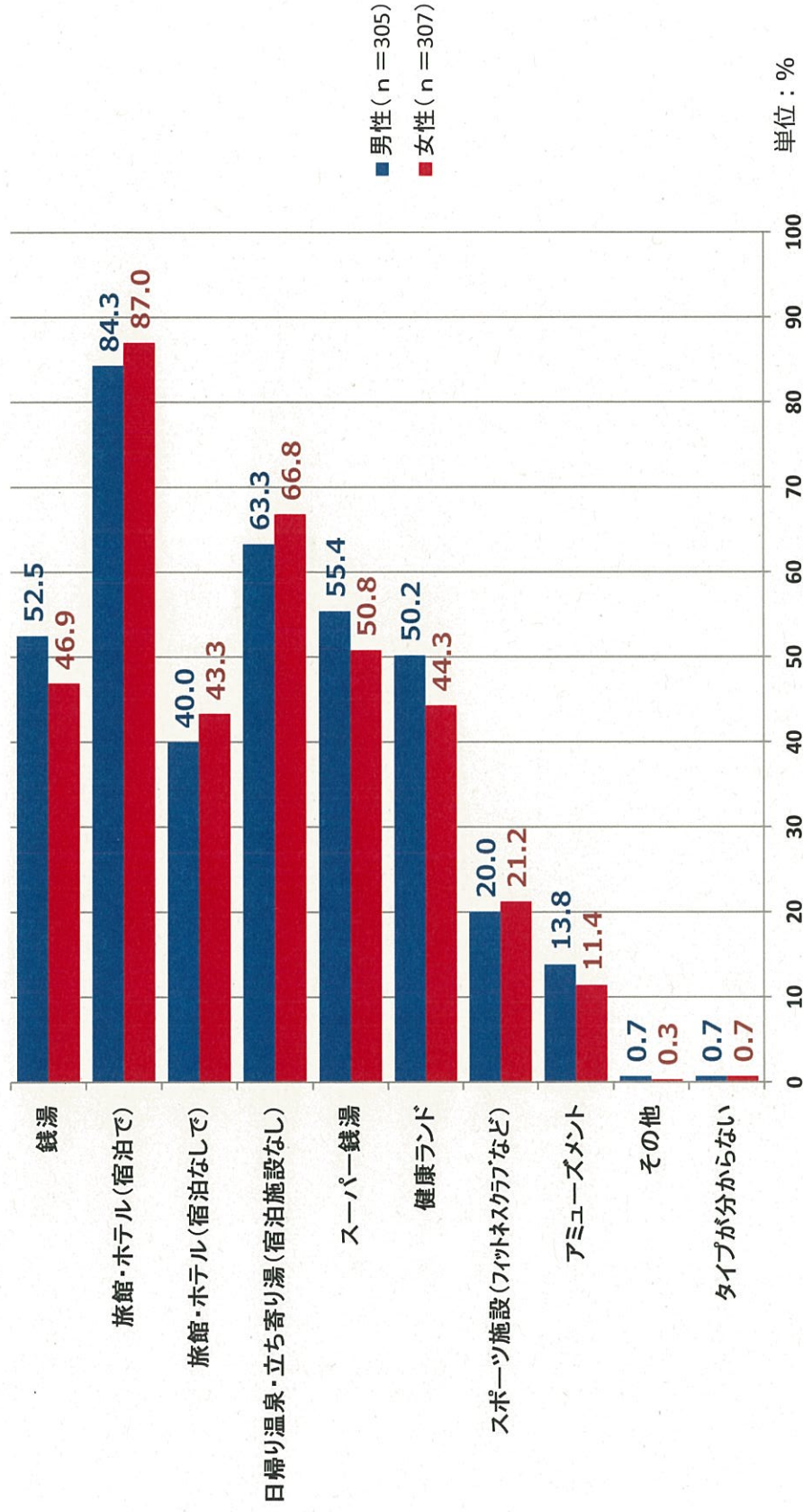
「ランニング愛好家向けにロッカーの貸し出しなどを行い、銭湯を拠点とした周辺コースも紹介。健康志向のランナーを後押しする」

出典：頑張れ「銭湯ランナー」 県内41カ所でロッカー貸し出しやコース紹介／神奈川：ローカルニュース：ニューズ：カナコ -- (神奈川新聞社)

「京都でもランニングブームに着目。拠点としてランナーが脱衣場で着替え、ランニングを楽しんだ後は銭湯でひとつ風呂を浴びている」

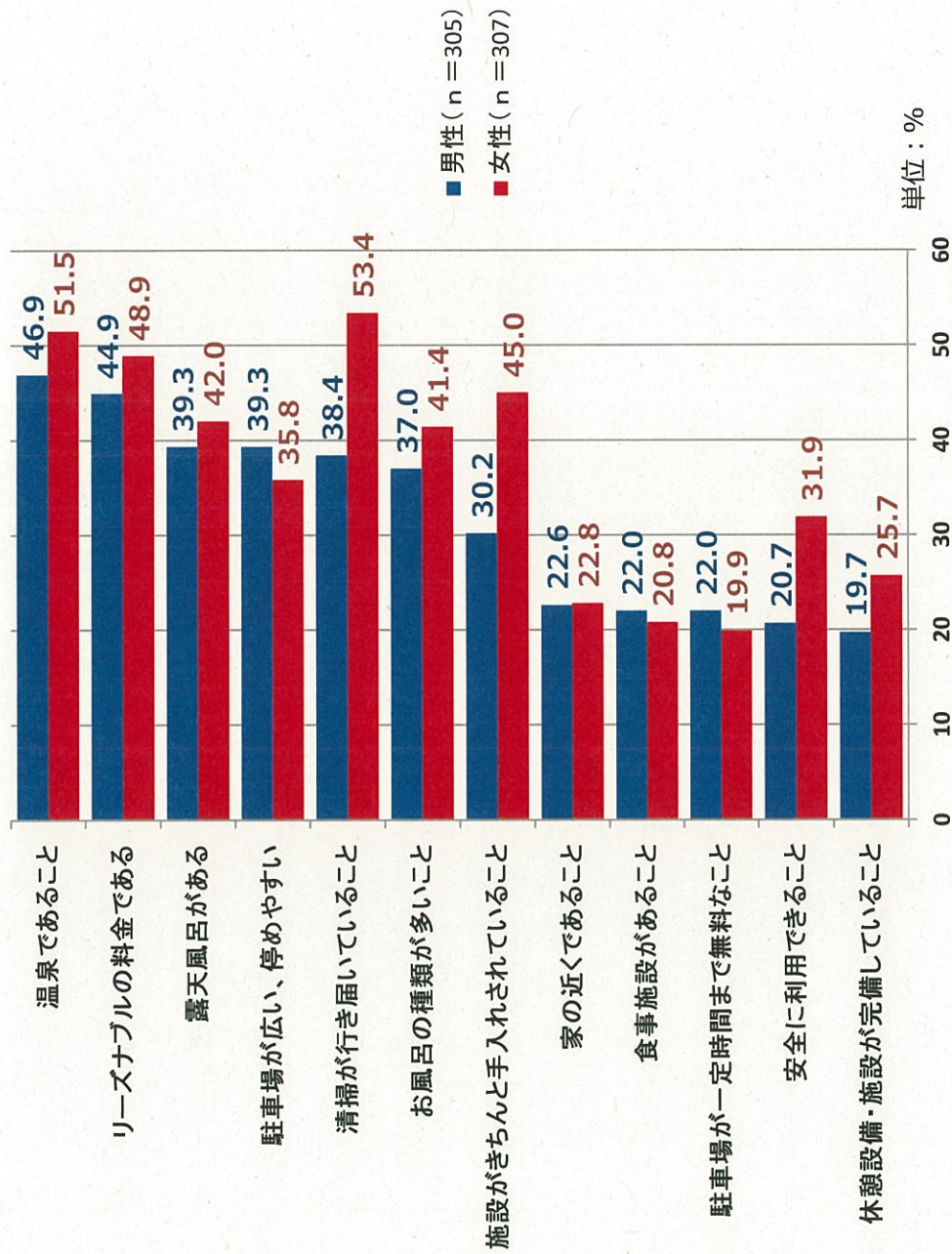
出典：ランナーにロッカー開放・写経も…知恵絞る銭湯：社会：YOMIURI ONLINE (読売新聞)

利用した「温浴施設」の種類（複数回答）



(出典) 株式会社日本能率協会総合研究所/マーケティング・データ・バンク (2012年3月)
 ※温泉・銭湯などの「温泉施設」利用実態を全国の20歳以上の男女を対象に調査。

「温浴施設」の重視する点（複数回答）



(出典) 株式会社日本能率協会総合研究所/マーケティング・データ・バンク (2012年3月)
 ※温泉・銭湯などの「温浴施設」利用実態を全国の20歳以上の男女を対象に調査。